

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2023年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	管理栄養学科				
科目名称	からだと疾病Ⅰ				授業形態	講義			
科目コード	307000	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員	○	アクティブラーニング	○
担当教員名	小川 恒夫							ICT活用	
授業概要	<p>本授業の目的は人体の構造（解剖学）を学ぶことである。</p> <p>人体の構造（解剖学）と機能（生理学）を理解し、将来、管理栄養士として、医師、薬剤師、看護師等との医療チームに加わるために必要な基本的知識の習得を目指してほしい。</p> <p>病院での実務経験のある教員により、医療現場で授業で学修したことが、どのように生かされるかを説明する。たとえば、患者が上腹部痛を訴えていても、上腹部にどのような臓器があるかを理解していないと、正しく診断ができないことになる。</p> <p>特に「からだと疾病Ⅰ」では解剖学を中心に講義する。解剖学は医療に携わる者にとって最低限の必要な基礎知識であり、今後習得する臨床科目の基本となる大切な科目である。</p>								
関連する科目	<p>本授業の履修前に受講することが望ましい科目：特になし</p> <p>本授業の履修後に受講することが望ましい科目：からだと疾病Ⅱ、臨床医学Ⅰ・Ⅱ、からだと疾病実習Ⅰ・Ⅱ</p>								
授業の方法と進め方	<p>はじめに前回の内容を理解しているかどうかを確認するために、小テストを行う。次に前半の授業内容を簡単に説明する。その後DVDを見ながら、課題を行う。6～7名をランダムに指名し、前の白板に課題の解答を記載してもらい、課題の理解度を確認する。後半は授業を聞きながらプリントに重要事項を記載するという形式で授業を進める。最後に前回の小テストを返却し、質問を受け付ける。同じ内容を、1年生の小テスト、1年生の期末テスト、2年生の実習と3回くり返し覚えてもらう予定である。DVDに出てくる内容は難しいものも含まれているので、まずはDVD用のプリントに記載した分だけをしっかりと覚えること。</p>								
授業計画【第1回】	1 骨格系 骨の形状、主要骨格								
授業計画【第2回】	2 筋肉系 筋の形状、骨格筋、平滑筋、心筋								
授業計画【第3回】	3 消化器系 口腔、食道、胃、小腸、								
授業計画【第4回】	4 消化器系 大腸、肝臓、膵臓								
授業計画【第5回】	5 循環器系 心臓、動脈、静脈								
授業計画【第6回】	6 血液系 血液、止血機構、リンパ系								
授業計画【第7回】	7 呼吸器系 肺、気管、気管支、喉頭、鼻腔								
授業計画【第8回】	8 泌尿生殖器系 腎臓、尿管、膀胱、男性生殖器、女性生殖器								
授業計画【第9回】	9 内分泌系 下垂体、甲状腺								
授業計画【第10回】	10 内分泌系 副甲状腺、副腎、								
授業計画【第11回】	11 神経系 中枢神経								

授業計画 【第12回】	1 2 神経系 末梢神経
授業計画 【第13回】	1 3 感覚器系 眼、耳、鼻、味覚器
授業計画 【第14回】	1 4 皮膚 皮膚の構造、汗腺
授業計画 【第15回】	1 5 疾患に伴う病理変化 炎症、細胞死、腫瘍
授業の到達目標	①体の構造（解剖学）および代表的な疾患について理解する。【知識・理解の獲得】 ②特に重要である生理学の用語について理解する。【知識・理解の深化】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外の学習 【予習】	【予習】 次の授業内容について教科書の「構造」の部分を読んで来ること。(1時間程度)
授業時間外の学習 【復習】	【復習】 その日に講義されたプリントの括弧内の語句を覚えてくること。(1時間程度)
課題に対する フィードバック	小テスト、最終試験は採点后、返却解説をします。
評価方法・基準	小テスト(5点)、期末テスト(95点)
テキスト	はじめての解剖生理学 一講義と実習一 金澤寛明 著 (南江堂)
参考書	人体の構成と機能及び疾病の成り立ち 総論、各論Ⅰ、各論Ⅱ 南江堂